

# 令和3年度 定時総会議案書

日 時 令和3年6月12日（土） 13:00～

場 所 兵庫県臨床検査技師会 研修センター



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

## 令和3年度 定時総会

### 【次 第】

1. 開会の辞
1. 議長選出
1. 書記任命
1. 総会の資格審査
1. 議事録署名人に関する件
1. 議案審議
  - (1) 第1号議案  
令和2年度 事業報告
  - (2) 第2号議案  
令和2年度 決算報告  
令和2年度 監査報告
1. 書記解任
1. 議長解任
1. 閉会の辞

## 目 次

はじめに	3
<b>【第1号議案】</b>	
令和2年度 事業報告	
I 法人事務局	
1. 総務部	3
公益社団法人として事務を円滑に進めることができる環境を整備する。 また各部局との連携強化を図り、公益と共益のバランスが取れた事業展開を支援する。	
2. 経理部	4
令和2年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会決算を提出する。	
II 事業推進局	
1. 公益目的事業（1）	5
公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業。	
2. 公益目的事業（2）	5
臨床検査の標準化推進及び精度管理調査・指導を行う事業。	
3. 公益目的事業（3）	6
学術及び技術の振興を目的とする事業。	
III 組織活動局	
1. 共益事業（他1）	7
会員の資質を向上させる事業。	
2. 広報事業（他2）	8
会員に有益な情報提供する事業。	
<b>【第2号議案】</b>	
令和2年度 決算報告	9
令和2年度 監査報告	17

## 令和2年度事業報告

「はじめに」

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会は、衛生思想の普及啓発及び臨床検査技術の振興を通じて、地域保健事業への協力を行うとともに、臨床検査の技術及び知識の高揚を図り、もって公衆衛生の向上と県民の健康の保持、増進に寄与することを目的とし、3つの公益事業（公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業、臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業、学術及び技術の振興を目的とする事業）と2つの共益事業（会員の資質を向上させる事業、広報事業）を軸に様々な活動を展開しているが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面式を避けZoomによるオンライン形式にて各種事業を実施したため、計画とは相違が生じていることをご了承願いたい。

公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業は、公益事業部と渉外部による水平横断的な連携で対応し、県民の健康増進と疾病予防、公衆衛生の向上を目指した市民公開講座やがん検診を促進するPR活動等を予定していたが軒並み中止となった。また、多職種連携を意識し、医療職団体協議会、プライマリ・ケア協議会、糖尿病療養指導士連合会等へはオンライン会議の形にて参加した。

臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業は、精度管理事業部が担当し、兵庫県医師会と連携して臨床検査の精度保証のために県下の施設を対象とした調査及び指導を行った。

学術及び技術の振興を目的とする事業は、学術部が担当し、Zoomを活用したオンライン形式にて研修会を実施した。また、新型コロナウイルス関連として、感染防止対策に十分留意した上で兵庫県との共催で、「新型コロナウイルスの検査に関するPCR実技研修会」を開催した。

会員の資質を向上させる事業は、組織部と渉外部が担当し、Zoomを活用したオンライン形式にて組織地区活動を実施し、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映するように努めた。

広報事業は、広報部が担当し、当会の活動を会員及び一般の皆様によりわかりやすく伝達するため、各種広報媒体を活用した情報発信、啓発活動を行った。また、時代の流れを鑑み、Information technology (IT) の活用を積極的に推進した。

各種法人事務作業は事務局長、総務部、経理部が担当した。理事会をはじめとする各種会議はZoomを活用したオンライン形式にて実施した。なお、決算に関しては、第2号議案として経理部が別途報告する。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今までと同じ形での活動が困難であったにもかかわらず、当会の事業が大過なく展開できたのは、会員各位および賛助の皆さま及び兵庫県をはじめ、兵庫県医師会等の医療職団体各位の協力のお陰であると深く感謝するとともに、今後とも継続して皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます次第である。

### 【第1号議案】

## 令和2年度 事業報告

### I. 法人事務局

#### 【総務部】

#### 1. 会務執行体制

理事会の議を経て各局・各部の会務を執行した。

事務作業は、臨時職員3名体制で新型コロナ感染対策に配慮しながら迅速かつ効率的に実施した。

新ホームページを開設し、HYOGOニュースや日臨技システムの一斉メールと共に活用し、会員への迅速な情報提供を実施した。

国・都道府県公式公益法人行政総合情報サイトに電子申請を行った。

- ・令和元年度事業報告(令和2年6月30日)
- ・令和3年度事業計画(令和3年3月25日)

#### 2. 総会

- ・令和2年度定時総会を開催した。(令和2年6月13日)
- ・令和2年度臨時総会を開催した。(令和3年3月20日)

3. 関連団体への対応として行政及び関連団体への委員、役員等の派遣を行った。

- ・精度管理専門委員（兵庫県、神戸市、姫路市）
- ・日臨技、日臨技近畿支部
- ・健康ひょうご21 県民運動推進会
- ・精度管理調査検討会
- ・健康づくり推進員
- ・兵庫県プライマリ・ケア協議会
- ・糖尿病療養指導士兵庫県連合会
- ・兵庫県合同輸血療法委員会
- ・兵庫県医療職団体協議会
- ・兵庫県がん診療連携協議会幹事会
- ・子宮の日実行委員会

4. 各種表彰について

- ・令和2年度 兵庫県健康財団会長表彰（がん予防功労賞）1名
- ・令和2年度 兵庫県公衆衛生協会会長表彰（公衆衛生功労）1名
- ・令和2年度 兵庫県自治賞（健康功労）1名
- ・令和元年度 兵臨技功労賞 3名
- ・令和2年秋の叙勲 受賞（瑞宝双光章）1名
- ・第55回小島三郎記念技術賞 1名

5. 事務作業の迅速化・簡素化

各種会議は兵臨技研修センターを活用し、経費の削減に努めた。理事会等の資料・報告書等の伝達及び保管については電子化に努め、コスト削減・業務の効率化を図った。また、会務の諸連絡は電子メール等の電子媒体を活用し、情報伝達の迅速化、共有化を行った。

6. JAMT「一斉メール」機能の使用について

現在、会員管理を日本臨床衛生検査技師会「都道府県技師会専用サイト」で行っている。本システムの「一斉メール」機能を利用して、兵臨技からの案内をメールアドレスの登録をしている全会員に配信している。

7. 令和3年3月31日現在の会員状況

地区別正会員数状況（正会員数）

	施設数	会員数
神戸地区	126	903
阪神地区	66	489
丹但地区	14	99
東播地区	50	440
西播地区	46	391
その他	0	20
合計	302	2342

賛助会員数 60 社

**【経理部】**

(第2号議案) 令和2年 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会決算を提出する。

<報告書類> 貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録  
収支予算事業別区分経理内訳表（G表）

## II. 事業推進局

### 【公益事業部】公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業（公1）

県民に対して公衆衛生、保健・医療、臨床検査の重要性や有効性に関連する情報提供を通し、疾病予防の関心を高め、健康診断受診率の向上を図り、公衆衛生の向上を図ることを目的として各事業を実施した。

#### 1. 各協議会との協働参画事業

##### （1）兵庫県がん連携協議会検査セミナー

【開催日】令和2年12月5日（土）

【会場】兵庫県民会館 パルテホール（ZoomによるWeb開催を併用）

【内容】“がん診療における循環器合併症” ～より長期の生存のために～

##### 1. がん治療に関連する合併症

演者：佐藤 洋 先生（関西電力病院 臨床検査部技師長）

##### 2. がんセンターにおけるCAT（がん関連血栓症）の実態

演者：野中 颯子 先生（兵庫県立がんセンター 腫瘍内科部長）

##### 3. がんセンターにおけるCTLCD（がん治療関連心機能障害）～早期発見における取組～

演者：福田 優子 先生（兵庫県立がんセンター 循環器内科医長）

【参加者】38名（会場24名、Web14名）

##### （2）メディカルスタッフ体感Webセミナー

【開催日】令和2年10月31日（土）

【会場】神戸医療産業都市 on the WEB（Web開催）

【内容】公益財団法人神戸医療産業都市推進機構主催のWebセミナー

神戸医療産業都市一般公開 on the Webの一環として、将来を担う中高生を対象とし、臨床検査技師の役割や仕事内容と資格取得への道を動画にて紹介。（『医療を支える臨床検査技師～臨床検査技師になるには～』日本臨床衛生検査技師会作製）

##### （3）災害訓練活動

令和2年度兵庫県阪神地域広域合同防災訓練

【開催日】令和2年9月20日（日）

【会場】尼崎市立中央中学校体育館 他

【内容】「自然災害と感染症との『複合災害』への備えの訓練」兵庫県が主催で行う合同防災訓練へ理事3名と会員2名の計5名で参加し、避難所での救護所における傷病者への治療、被災避難者への健康管理を行う目的で、JMAT兵庫（兵庫県医師会災害医療チーム）に参画した。コロナ禍に自然災害が発生した被災地内における災害医療の基盤整備等に従事し医療活動を行った。

【参加者】5名

#### 2. 啓発事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業を中止

### 【精度管理事業部】臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業（公2）

医療法の一部改正があり精度管理の普及や重要性が高まる中、臨床検査の標準化調査及び精度管理指導に関する事業は、県と兵庫県医師会、当会が共同で行う事業で、県の臨床検査実施機関の臨床検査データの標準化、共有化を図ることで、県民に信頼性の高い臨床検査データを提供することを目的として実施した。

【実施】令和2年11月

【評価・報告】令和3年3月

【参加施設数】138施設

【調査概要】日臨技精度管理システム（JAMTQC）により、申込み・結果報告、集計、解析等を行う。

【調査項目】臨床生化学検査、ヘモグロビンA1c検査、血液ガス検査、免疫血清検査、血球計数検査、血液像検査（フォトサーベイ）、凝固検査、便潜血検査、尿沈渣検査（フォトサーベイ）、微生物

検査、微生物塗沫鏡検（フォトサーベイ）、輸血検査、病理組織検査、免疫組織化学染色、細胞診（フォトサーベイ）、生理機能検査（フォトサーベイ）

【調査内容】各検査調査項目に対して、当会から配布した試料を個々の施設で行う検査方法・測定機器にて測定し、その測定値を当会精度管理事業部で集計、統計学的手法（各検査項目の目標値または平均値、標準偏差値、変動係数等）で分析を行った。写真や細胞画像等から所見判定を問う調査（フォトサーベイ）は、所見（エピソード）、細胞、細菌等から想定される病名や種類等を総合的に判断する知識と能力を問うものであり、病理標本はその染色性を評価するものである。

評価については、昨年同様 A・B・C の 3 段階とし施設別評価表にその一覧を掲載した。

統計学的手法から逸脱する施設に対して、文書での通知、試料再送付による再測定や測定時の状況を調査して学術部が指導するなど手厚いサポートを行った。

【調査報告】調査結果は JAMTQC に施設別評価表を掲載し、参加施設が自施設の結果を出力し確認することが可能であった。また、精度管理解析資料集を発行し、兵臨技精度管理合同報告会および医師会との合同精度管理検討会を開催した。兵臨技ホームページに精度管理合同報告会の資料および精度管理解析資料集の簡易版を掲載し、各施設が随時閲覧可能できる環境を提供した。

【サポート体制】令和 2 年度兵臨技精度管理調査の結果、改善が必要な 73 施設に対して是正サポートを実施した結果、是正完了が 69 施設、是正対応中が 3 施設、是正継続中が 1 施設であった。今年度の精度管理調査はサポート体制を強化して取り組んだ結果が次年度に繋がることを期待する。

## 【学術部】学術及び技術の振興を目的とする事業（公 3）

臨床検査は、医療の中でもっとも重要性の高いものの 1 つであり、診断、治療効果の判断材料とされている。それら日進月歩で進化する医療の知識や技術に対応するため臨床検査技師・医療関連職種の資質の向上が必須である。学術活動を通じて最新の医療の知識や技術を習得し、安全で安心な医療を目指して会員の資質向上を図るため、年間を通じて専門分野ごとに数多くの研修会及び技能習得のための実習会を開催している。今年度は、コロナの影響もあり研修会の開催自体が難しいため、上半期は研修会開催を中止することがほとんどであったが、下半期に入り Web 研修会ができる準備を整え、各研究班最低 1 回という回数ではあるが無料で研修会を開催し、次年度に向けた準備を行った。

また、臨床検査技師が中心となり遺伝子検査（PCR 検査）を実施するようになった 1 年でもあり、検査体制及び連携体制の強化と行政支援を目的として、PCR 検査の実技研修会（2 回）を兵庫県との共催にて開催した。

### <臨床検査技師を対象とするもの>

#### 1. 学術研修事業

実務経験に応じたレベルごとの研修や、多様な臨床検査技術に関する各種研修を実施し、臨床検査技師の専門的な知識、技術を高め、高度医療や先進医療に対応できる人材の育成を目的とし開催した。

- |                   |         |       |
|-------------------|---------|-------|
| (1) 微生物検査研修：研修回数  | 2 回、参加者 | 188 名 |
| (2) 免疫血清検査研修：研修回数 | 0 回、参加者 | 0 名   |
| (3) 血液検査研修：研修回数   | 1 回、参加者 | 75 名  |
| (4) 臨床化学検査研修：研修回数 | 1 回、参加者 | 94 名  |
| (5) 病理細胞検査研修：研修回数 | 2 回、参加者 | 37 名  |
| (6) 生理検査研修：研修回数   | 2 回、参加者 | 121 名 |
| (7) 一般検査研修：研修回数   | 3 回、参加者 | 149 名 |
| (8) 輸血検査研修：研修回数   | 1 回、参加者 | 28 名  |
| (9) 遺伝子検査研修：研修回数  | 1 回、参加者 | 31 名  |
| (10) 管理・教育研修：研修回数 | 0 回、参加者 | 0 名   |
| (11) チーム医療研修：研修回数 | 2 回、参加者 | 91 名  |

#### 2. 就労研修事業

医療機関及び検査機関等において有能な臨床検査技師の確保・定着を促進し、地域における臨床検査の迅速化、正確化を図るため、臨床検査からブランクのある離職者および担当業務よりブランクのある会員に対して専門的な実践研修（実技講習会）を実施した。

(1) 遺伝子検査：研修回数 2回、参加者 38名

### 3. 臨床検査支援事業

(1) 県民に対し、臨床検査内容を適切に説明できるよう、臨床検査情報の提供を行うための知識・技能等を習得するため、研修会等において指導を行った。

(2) 県内各地域で研修会を開催し、地域で勤務する臨床検査技師の修学・技術習得意識の向上を図り地域の臨床検査技師の資質向上を図った。

## Ⅲ. 組織活動局

### 共益事業（他1）

#### 【組織部】会員の資質を向上させる事業

地区活動を通じ、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映されるように以下の事業を行った。

#### 1. 組織強化及び情報交換・共有化事業

実施内容：施設責任者・連絡者会議の開催、検査情報共有化

#### <丹但地区>

(1) 令和2年度第1回丹但地区 地区会議

【開催日】令和2年10月24日（土）

【会場】朝来医療センター4F 会議室・Web 併用

【参加者】7名

(2) 第15回丹但地区学術組織合同研修会

【開催日】令和3年2月27日（土）

【会場】Web 開催

【参加者】55名

(3) 令和2年度第2回丹但地区 地区会議

【開催日】令和3年2月27日（土）

【会場】Web 開催

【参加者】8名

#### <西播地区>

(1) 令和2年度第1回西播地区 地区会議

【開催日】令和2年8月5日（水）

【会場】太子町あすかホール 会議室

【参加者】18名

(2) 第10回西播地区研修会

【開催日】令和2年8月23日（日）

【会場】Web 開催

【参加者】46名

(3) 令和2年度第2回西播地区 地区会議

【開催日】令和2年12月23日（水）

【会場】Web 開催

【参加者】16名

(4) 令和2年度第1回西播地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和3年3月17日（水）

【会場】Web 開催



【参加者】 25 名

<東播地区>

(1) 第1回東播地区ナイトセミナー

【開催日】 令和2年10月23日(金)

【会場】 Web 開催

【参加者】 76 名

(2) 令和2年度東播地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】 令和3年2月20日(土)

【会場】 Web 開催

【参加者】 15 名

<神戸・阪神地区>

(1) 令和2年度阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議

【開催日】 令和3年3月10日(水)

【会場】 Web 開催

【参加者】 23 名

2. 職業紹介事業(担当: 渉外部)

県内の求人情報の提供(HYOGO ニュース紙面にて延べ20施設紹介)を行った。

3. 業務疑義照会(担当: 渉外部)

会員及び施設からの検査業務に関する問い合わせ(4件)に対して回答を行った。

**広報事業(他2)**

**【広報】 会員に有益な情報提供する事業**

事業概要のもと、当会の活動を県民への広報と機関紙及び会報発行を行い会員相互への情報提供、職業意識の共有化を図るため、各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発活動を展開した。

1. 会報、機関紙の発行

(1) 会報「HYOGO JOURNAL」について

新春特集(会員向け事業報告)

第42巻 第1号(通巻246号) 令和3年2月3日発行

(2) 機関紙「HYOGO ニュース」について(月間行事予定表を含む)

隔月発行 第363～369号

2. ホームページの随時更新掲載(臨床検査情報センター)

新HPの開設。各組織委員による直接HP運用・操作が可能となり、リアルタイム性の向上、レイアウトの変更などが容易となった。

(1) 市民公開講座、講演会、学会、研修会などの案内と報告

(2) 医療関連情報の提示、施設および賛助会員紹介など

(3) 精度管理事業の公開(案内、報告など)

(4) 関連団体の学会、研修会などの案内

(5) サテライト研修会の案内

(6) Web 行事予定表

(7) Web 求人情報

3. 取材活動

Web 開催のため、基本的には開催状況の解る写真・記事を依頼した。

(1) 令和2年度定時総会

【開催日】令和2年6月13日(日)

(2) 第10回西播地区研修会(Web開催)

【開催日】令和2年8月23日(日)

(3) 令和2年度兵庫県臨床検査技師会合同研修会(Web開催)

【開催日】令和2年8月30日(日)

(4) 「検査セミナー」

【開催日】令和2年12月5日(日)

(5) 臨時総会

【開催日】令和3年3月20日(土)

## 【第2号議案】

令和2年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 決算報告

《報告書類》貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録  
収支予算事業別区分経理内訳表(G表)

令和2年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 監査報告

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	326,975	620,320	△ 293,345
普通預金	12,939,532	11,159,734	1,779,798
振替口座	541,336	466,796	74,540
未収金	0	0	0
前渡金	0	115,000	△ 115,000
流動資産合計	13,807,843	12,361,850	1,445,993
2. 固定資産			
(1)特定資産			
功労賞預金	5,000,000	5,000,000	0
研修センター維持積立預金	2,532,877	2,532,573	304
特定資産合計	7,532,877	7,532,573	304
(2)その他の固定資産			
什器備品	1,413,810	1,989,226	△ 575,416
ソフトウェア	0	57,816	△ 57,816
保証金	2,500,000	2,500,000	0
その他の固定資産合計	3,913,810	4,547,042	△ 633,232
固定資産合計	11,446,687	12,079,615	△ 632,928
<b>資産合計</b>	<b>25,254,530</b>	<b>24,441,465</b>	<b>813,065</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	11,610,000	11,738,000	△ 128,000
預り金	0	10,556	△ 10,556
流動負債合計	11,610,000	11,748,556	△ 138,556
2. 固定負債			0
固定負債合計	0	0	0
<b>負債合計</b>	<b>11,610,000</b>	<b>11,748,556</b>	<b>△ 138,556</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産	13,644,530	12,692,909	951,621
(うち特定資産への充当額)	(7,532,877)	(7,532,573)	(304)
<b>正味財産合計</b>	<b>13,644,530</b>	<b>12,692,909</b>	<b>951,621</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>25,254,530</b>	<b>24,441,465</b>	<b>813,065</b>

正味財産増減計算書

令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで

一般会計		(単位:円)		
科 目	当年度	前年度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入金	4,000	14,000	-10,000	
受取会費	4,000	14,000	-10,000	
受取員受取費	14,675,000	14,490,000	185,000	
正助員受取費	11,675,000	11,390,000	285,000	
事業費	3,000,000	3,100,000	-100,000	
事務管理費	4,111,000	7,401,500	-3,290,500	
精進管理事業	3,731,000	3,669,000	62,000	
学会員資質向上事業	0	2,828,000	-2,828,000	
広参報加事業	0	369,500	-369,500	
受託収益	380,000	430,000	-50,000	
日臨技受理事業	0	105,000	-105,000	
日臨技受理事業	815,700	955,183	-139,483	
日臨技受理事業	57,250	136,800	-79,550	
日臨技受理事業	758,450	786,363	-27,913	
日臨技受理事業	0	32,020	-32,020	
日臨技受理事業	503,500	1,462,500	-959,000	
日臨技受理事業	503,500	1,462,500	-959,000	
受寄附金	50,000	50,000	0	
受寄附金	50,000	50,000	0	
雑収益	6,083	6,203	-120	
受雑収益	581	570	11	
受雑収益	5,506	5,193	313	
受雑収益	0	440	-440	
経常収益計	20,165,287	24,379,386	-4,214,099	
(2) 経常費用				
公益事業費	11,062,788	16,127,307	-5,064,519	
臨時福利厚生費	1,008,062	1,052,280	-44,218	
臨時福利厚生費	2,212,554	2,427,839	-215,285	
福利厚生費	329,538	393,188	-63,650	
福利厚生費	0	53,500	-53,500	
旅通什消耗品費	321,200	2,760,882	-2,439,682	
旅通什消耗品費	459,283	306,334	152,949	
旅通什消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	3,002,384	4,328,117	-1,325,733	
印刷製本費	193,050	312,712	-119,662	
印刷製本費	294,714	290,035	4,679	
光貨諸借謝会負担金	2,790,033	3,294,547	-504,514	
光貨諸借謝会負担金	204,370	841,873	-637,503	
諸借謝会負担金	5,000	36,000	-31,000	
支保減価償却費	30,000	30,000	0	
支保減価償却費	212,600	0	212,600	
支保減価償却費	0	0	0	
共益事業費	5,098,013	6,535,347	-1,437,334	
給臨時福利厚生費	504,030	526,139	-22,109	
給臨時福利厚生費	346,068	354,584	-8,516	
給臨時福利厚生費	96,925	115,646	-18,721	
給臨時福利厚生費	0	734,484	-734,484	
旅通什消耗品費	23,500	317,380	-293,880	
旅通什消耗品費	1,063,393	1,093,367	-29,974	
旅通什消耗品費	71,977	245,433	-173,456	
印刷製本費	1,421,200	1,586,700	-165,500	
印刷製本費	111,212	101,763	9,449	
光貨諸借謝会負担金	872,674	987,577	-114,903	
光貨諸借謝会負担金	22,274	22,274	0	
諸借謝会負担金	414,760	300,000	114,760	
支保減価償却費	150,000	150,000	0	
支保減価償却費	3,052,865	3,566,576	-513,711	
給臨時福利厚生費	168,004	175,379	-7,375	
給臨時福利厚生費	161,493	165,473	-3,980	
給臨時福利厚生費	110,006	139,381	-29,375	
給臨時福利厚生費	0	9,900	-9,900	
旅通什消耗品費	152,857	494,960	-342,103	
旅通什消耗品費	929,168	478,089	451,079	
旅通什消耗品費	0	165,888	-165,888	
印刷製本費	81,978	67,712	14,266	
印刷製本費	0	76,140	-76,140	
光貨諸借謝会負担金	150,135	147,749	2,386	
光貨諸借謝会負担金	9,930	9,609	321	
フ ト ウ ア 購 入	0	68,200	-68,200	
貨諸借謝会負担金	354,529	379,176	-24,647	
租 税 公 課	10,000	70,000	-60,000	
租 税 公 課	5,000	23,700	-18,700	
委 託 費	264,000	261,600	2,400	
慶 弔 費	11,000	68,000	-57,000	
保 守 料	3,960	0	3,960	
雑 費	7,573	2,088	5,485	
減 価 償 却 費	633,232	674,762	-41,530	
経常費用計	19,213,666	26,229,230	-7,015,564	
評価損益等調整前当期経常増減額	951,621	-1,849,844	2,801,465	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	951,621	-1,849,844	2,801,465	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
什器備品購入額	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	951,621	-1,849,844	2,801,465	
一般正味財産期首残高	12,692,909	14,542,753	-1,849,844	
一般正味財産期末残高	13,644,530	12,692,909	951,621	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 基金増減の部				
当期基金増減額	0	0	0	
基金期首残高	0	0	0	
基金期末残高	0	0	0	
IV 正味財産期末残高	13,644,530	12,692,909	951,621	

## 財産目録

令和3年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	326,975
	預金	普通預金 三井住友銀行(本部) 普通預金 No.7433099		12,939,532
	振替口座	ゆうちょ銀行 振替口座 No.001180-5-5170		541,336
	流動資産合計			13,807,843
(固定資産) その他固定資産	什器備品	事務所設置機器(電話機、パソコン等)	事務所運営	1,413,810
	ソフトウェア	ソフト(PCA公益法人会計V.12)	事務所会計処理	0
	功労賞預金	三菱UFJ信託銀行 定期預金 No.27713007	功労賞、奨励賞授与等運営費	5,000,000
	研修センター維持積立預金	みずほ銀行 定期預金 No.6144828	研修センター維持運営費	2,532,877
	保証金	東洋ビル4階フロア賃貸契約敷金	事務所、研修センター借上	2,500,000
	固定資産合計			11,446,687
資産合計			25,254,530	
(流動負債)	前受金	令和3年度会費等(正会員、賛助会員、広告料)		11,610,000
	預り金			0
流動負債合計			11,610,000	
負債合計			11,610,000	
正味財産			13,644,530	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施しています。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しています。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及び当期末残高は次のとおりです。

預金名	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
功労賞預金	5,000,000	0	0	5,000,000
研修センター維持積立預金	2,532,573	304	0	2,532,877
合 計	7,532,573	304	0	7,532,877

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりです。

品 名	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高	備考
什器備品	4,623,097	3,209,287	1,413,810	下記表参照
ソフトウェア	315,360	315,360	0	下記表参照
合 計	4,938,457	3,524,647	1,413,810	

#### 【什器備品】

品 名	購入年月	耐用年数	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
電話機	H18.03	6年	315,000	314,999	1
精度管理事業支援システム	H21.02	5年	987,000	986,999	1
ノートパソコン	H23.01	5年	135,721	135,720	1
パソコン	H27.03	5年	100,688	100,687	1
パソコン	H27.03	5年	100,688	100,687	1
ノートパソコン	H29.03	5年	162,000	132,300	29,700
ノートパソコン	H29.03	5年	162,000	132,300	29,700
エアコン	H29.07	6年	648,000	405,162	242,838
プロジェクター	H30.12	5年	1,242,000	579,600	662,400
物忘れプログラム	H31.03	5年	770,000	320,833	449,167
合 計			4,623,097	3,209,287	1,413,810

#### 【ソフトウェア】

品 名	購入年月	耐用年数	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
ソフトウェア	H28.03	5年	315,360	315,360	0

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A009122
法人名	公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

【別表G】収支予算の事業別区分経理の内訳表  
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計				内部取引控除	合計	
	公1	公2	公3	共通	小計	他1	他2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息					0				0			0
基本財産受取配当金									0			0
特定資産運用益	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息					0							0
受取入会金		4,000			4,000				0			4,000
受取入会金		4,000			4,000				0			4,000
受取会費	2,150,000	750,000	3,100,000	0	6,000,000	2,000,000	3,500,000	0	5,500,000	3,175,000	0	14,675,000
会員受取会費	900,000	500,000	1,600,000	0	3,000,000	2,000,000	3,500,000	0	5,500,000	3,175,000	0	11,675,000
賛助会員受取会費	1,250,000	250,000	1,500,000	0	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
事業収益	0	3,731,000	0	0	3,731,000	0	380,000	0	380,000	0	0	4,111,000
参加費収益	0	3,731,000	0	0	3,731,000	0	0	0	0	0	0	3,731,000
広告収益	0	0	0	0	0		380,000	0	380,000	0	0	380,000
研修センター使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託収益	0	758,450	0	0	758,450	0	0	0	0	57,250	0	815,700
日臨技受託金	0		0	0	0	0	0	0	0	57,250	0	57,250
兵庫県医師会	0	758,450	0	0	758,450	0	0	0	0	0	0	758,450
事務手数料	0									0		0
助成金収益	0	0	484,000	0	484,000	19,500	0	0	19,500	0	0	503,500
日臨技助成金	0		484,000	0	484,000	19,500	0	0	19,500	0	0	503,500
受取寄附金	10,000	30,000	10,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000
受取寄附金	10,000	30,000	10,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,087	0	6,087
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	581	0	581
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,506	0	5,506
<b>経常収益計</b>	<b>2,160,000</b>	<b>5,273,450</b>	<b>3,594,000</b>	<b>0</b>	<b>11,027,450</b>	<b>2,019,500</b>	<b>3,880,000</b>	<b>0</b>	<b>5,899,500</b>	<b>3,238,337</b>	<b>0</b>	<b>20,165,287</b>

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A009122
法人名	公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

【別表G】収支予算の事業別区分経理の内訳表  
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計									法人会計	内部取引控除	合計	
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	他 1	他 2	共通	小計				
(2) 経常費用													
事業費	2,165,091	5,296,749	3,600,948	0	11,062,788	1,682,958	3,415,055	0	5,098,013	0	0	16,160,801	
給料手当	369,623	336,020	302,419	0	1,008,062	218,415	285,615		504,030			1,512,092	
臨時雇賃金	553,709	1,128,207	530,638	0	2,212,554	207,641	138,427		346,068			2,558,622	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
福利厚生費	121,156	82,383	125,999	0	329,538	58,152	38,773		96,925			426,463	
会議費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
旅費交通費	38,060	144,140	139,000	0	321,200	7,470	16,030		23,500			344,700	
通信運搬費	17,502	381,265	60,516	0	459,283	178,895	884,498		1,063,393			1,522,676	
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
消耗品費	61,304	2,420,696	520,384	0	3,002,384	57,332	14,645		71,977			3,074,361	
修繕費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
印刷製本費	0	193,050	0	0	193,050	0	1,421,200		1,421,200			1,614,250	
燃料費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
光熱水料費	55,607	94,530	144,577	0	294,714	66,727	44,485		111,212			405,926	
調査費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
賃借料	795,033	285,687	1,709,313	0	2,790,033	713,672	159,002		872,674			3,662,707	
保険料	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
諸謝金	114,137	33,411	56,822	0	204,370	22,274	0		22,274			226,644	
諸会費	5,000	0	0	0	5,000	0	0		0			5,000	
図書費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
渉外費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
表彰制度運営費	0	0	0	0	0	150,000	0		150,000			150,000	
負担金	30,000	0	0	0	30,000	0	0		0			30,000	
租税公課	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
委託費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
広報費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
保守料	3,960	197,360	11,280	0	212,600	2,380	412,380		414,760			627,360	
記念事業	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0		0			0	



記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A009122
法人名	公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

【別表G】収支予算の事業別区分経理の内訳表  
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)


科 目	公益目的事業会計					法人会計				内部取引控除	合計	
	公1	公2	公3	共通	小計	他1	他2	共通	小計			
管理費										3,052,865	0	3,052,865
役員報酬										0		0
給料手当										168,004		168,004
臨時雇賃金										161,493		161,493
退職給付費用										0		0
福利厚生費										110,006		110,006
会議費										0		0
旅費交通費										152,857		152,857
通信運搬費										929,168		929,168
減価償却費										633,232		633,232
消耗什器備品費										0		0
消耗品費										81,978		81,978
修繕費										0		0
印刷製本費										0		0
燃料費										0		0
光熱水料費										150,135		150,135
賃借料										354,529		354,529
保険料										0		0
諸謝金										0		0
租税公課										5,000		5,000
諸会費										10,000		10,000
慶弔費										11,000		11,000
図書費										9,930		9,930
支払負担金										0		0
支払寄付金										0		0
支払利息										0		0
委託費										264,000		264,000
有価証券運用損										0		0
広報費										0		0
保守料										3,960		3,960
ソフトウェア購入費										0		0
雑費										7,573		7,573
<b>経常費用計</b>	<b>2,165,091</b>	<b>5,296,749</b>	<b>3,600,948</b>	<b>0</b>	<b>11,062,788</b>	<b>1,682,958</b>	<b>3,415,055</b>	<b>0</b>	<b>5,098,013</b>	<b>3,052,865</b>	<b>0</b>	<b>19,213,666</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,091	△ 23,299	△ 6,948	0	△ 35,338	336,542	464,945	0	801,487	185,472	0	951,621
基本財産評価損益等					0				0			0
特定資産評価損益等					0				0			0
投資有価証券評価損益等					0				0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 5,091</b>	<b>△ 23,299</b>	<b>△ 6,948</b>	<b>0</b>	<b>△ 35,338</b>	<b>336,542</b>	<b>464,945</b>	<b>0</b>	<b>801,487</b>	<b>185,472</b>	<b>0</b>	<b>951,621</b>
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
固定資産取得額					0				0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
固定資産除却損					0				0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
他会計振替額					0				0			0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 5,091</b>	<b>△ 23,299</b>	<b>△ 6,948</b>	<b>0</b>	<b>△ 35,338</b>	<b>336,542</b>	<b>464,945</b>	<b>0</b>	<b>801,487</b>	<b>185,472</b>	<b>0</b>	<b>951,621</b>

# 監査報告書

令和3年4月27日

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
会長 真田 浩一様

監事 東塚 伸一 

監事 笠薙 和宏 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上